

「専修学校留学生の学びの支援推進事業」実施委託要項

令和 3 年 3 月 1 6 日
総合教育政策局長決定
令和 4 年 3 月 2 1 日
一 部 改 訂
令和 5 年 3 月 1 5 日
一 部 改 訂

1 趣旨

日本再興戦略における「留学生 30 万人計画」に基づき、専修学校においては、専修学校、日本語教育機関及び諸外国の教育機関並びに産業界が一体となり各地域における外国人留学生等の戦略的受入れに向けた体制整備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、留学生の我が国への入国が容易ではなくなっており、これまで専修学校が築き上げてきた留学モデルは、機能しなくなる恐れがある。

一方で我が国にとって優秀な留学生を確保することは生産性の維持・向上の観点からも死活的に重要であり、入国すらできない留学予定者や母国へ一時帰国している留学生のため、当面、母国にいながらにして遠隔授業で学習を行える環境の整備、留学生の学びを支える学習コンテンツの開発や学習サポートが不可欠な状況である。

そのため、新型コロナウイルスの長期化や新たな危機に備える観点からも、留学生をトータルパッケージで支援する新たな仕組みを構築することが重要。

2 委託事業の内容

(1) コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備

コロナ禍を契機として、母国で主にオンラインを通じて学習するためのコンテンツ開発や学修サポート体制を構築するとともに、現地の教育機関などとも連携し、母国での学修を評価し、来日以後の残りの学修、就職支援までをトータルパッケージで支援するモデルを構築する。

(2) 分野横断連絡調整会議の実施

(1) の各取組の進捗管理及び連絡調整を行い、事業成果を体系的にとりまとめるとともに普及・定着方策を検討、展開する。

(3) 継続的な外国人留学生の状況調査等

専修学校の外国人留学生の継続的な実態把握のため、留学動向やその後の就職状況について、全国的な調査・分析を実施し、その成果を上記(1)及び(2)の取組に情報提供、提言等の取組を通じて反映させる。

3 事業の委託先

(1) コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入れに向けた体制整備

専修学校及び各種学校によって構成される都道府県協会等で法人格を有する団体。

(2) 分野横断連絡調整会議の実施

法人格を有する団体。

(3) 継続的な外国人留学生の状況調査等

法人格を有する団体。

4 委託期間

(1) 契約期間は、委託を受けた日から事業が終了する日までとする。ただし、契約日が属する年度をまたぐことはできない。

(2) 複数年度の採択を前提に採択された場合には、当該年度の事業実績の見込みに係る中間報告及び翌年度の事業計画を基に審査を行い、事業の継続を判断するものとする。ただし、事業の継続翌年度の契約は、当該年度の最終的な事業実績を基に、本委託事業遂行に問題がないことを確認したうえで締結することとする。その際、契約の締結は年度毎に行うものとする。

(3) 上記(2)の中間報告について必要な事項は別に定める。

5 委託手続

(1) 上記2の事業の受託を希望する者は、企画提案書(様式1)を文部科学省に提出する。

(2) 文部科学省は、上記(1)により提出された企画提案書等の内容を検討し、内容が適切であると認めた場合、委託を決定する。

(3) 委託決定の通知を受領した者は、事業計画書(様式2)を文部科学省に提出し、当該事業計画書を基に契約を締結する。

6 委託経費

(1) 文部科学省は、事業計画の規模・内容等を勘案し、予算の範囲内で事業に要する経費(人件費、事業費(諸謝金・旅費・借損料・消耗品費・会議費・通信運搬費・雑役務費・保険料)、一般管理費、再委託費、消費税相当額)を委託費として支出する。

(2) 文部科学省は、事業の委託先が委託要項等に違反したとき、又は事業の遂行が困難であると認めたときは、委託契約の解除や経費の全部又は一部について返還を命じることができる。

(3) 委託費の支払いは、実績報告書(様式3)に基づき、その額が確定した後に支払う精算払いを原則とする。ただし、委託先の申し出を受けて、事業完了前に必要があると文部科学省が認めるときは、委託費の全部又は一部を概算払いすることができる。

7 再委託

(1) 事業の実施に当たっては、委託事業の全部を第三者に委託してはならない。

- (2) この委託事業を実施するに当たり、委託先が実施する事業の一部を第三者に委託（以下「再委託」という。）することが事業を実施する上で合理的であると認められるものについては、再委託することができる。
- (3) 委託事業を再委託する場合は、再委託した業務に伴う当該第三者の行為について、文部科学省に対し全ての責任を負うものとする。

8 事業完了の報告

委託先は、事業が終了したとき又は委託契約期間が満了したときは、事業が終了した日（契約を解除した日を含む）から10日を経過した日、又は契約満了日までに、実績報告書及び成果物（成果報告書、その他事業を実施する上で得た成果物）、その他文部科学省が必要と認める資料について、文部科学省に提出しなければならない。

9 委託費の額の確定

- (1) 文部科学省は、上記8により提出された実績報告書について調査及び必要に応じて現地調査等を行い、その内容が適正であると認めたときは、委託費の額を確定し、様式4により委託先に通知するものとする。
- (2) 上記(1)の確定額は、事業に要した額と委託契約額のいずれか低い額とする。

10 成果の普及・活用

本事業の実施により得られた成果は、文部科学省及び委託先のWEBページ及びSNS等において公開するとともに、事業に参画する教育機関や企業・業界団体等を通じて、全国での活用を促すものとする。併せて、成果報告書等の関係機関等への配布、成果の活用状況等の把握を行うなど、当該分野の人材養成を所管する省庁の協力も得つつ、本事業により得られた成果が広く普及・活用されるよう努めるものとする。また、文部科学省が行う委託事業の成果の活用状況の把握等に協力するものとする。

11 その他

- (1) 文部科学省は、委託先における事業の実施が本事業の趣旨に反すると認められるときには、必要な是正措置を講じるよう求める。
- (2) 文部科学省は、事業の実施に当たり、委託先の求めに応じて指導・助言を行うとともに、その効果的な運営を図るために協力する。
- (3) 文部科学省は、必要に応じ、本委託事業の実施状況及び経理処理状況について、実態調査を行うことができる。
- (4) この要項に定めるもののほか、本事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

事業名 ○〇〇〇のための□□□□事業 (メリト MSJ シック 14ポイント)

※取組を実施する都道府県名を記載すること。複数の都道府県で実施する場合には複数記載すること。

申請者 ○〇法人△△△△協会 (メリト MSJ シック 14ポイント)

申請額 12,545千円 (メリト MSJ シック 14ポイント) ※千円未満切捨て

取組を実施する地域

〇〇都道府県

事業の趣旨・目的

取組の実施体制イメージ

① ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ⑩ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ⑲ ○ ○ ○ ○ ○ ⑳

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩ 行目

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑳ 行目

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

▼メリト MSJ シック 11ポイント

▼1行 30文字 × 25行以内
※750文字以内を厳守すること。

▼取組を実施する上での実施体制のイメージを記載すること。

連携組織

	教育機関	内諾
1	〇〇〇〇専門学校	
2	
3	...	
4	...	
5	...	
6	...	
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

▼内諾の得られている連携組織については「内諾」欄に〇を記入すること。諸外国の教育機関については、教育機関名の後に括弧書きで国名を記載すること。

▼企業・業界団体毎に具体的に記載すること。

▼専門学校が参画し、職業実践専門課程認定課程（学科）が連携機関として参画する場合、機関名に（認定課程）と付記すること。また、「役割・協力事項」には役割に応じて「実証講座実施」「プログラムの検討・開発」などと具体的に記載すること。

▼組織として連携する機関を記載してください。（有識者として大学教員が参画する場合は、組織間の協定等に基づき参画する場合などを除き、当該教員が所属する大学は連携機関には含まれません）

▼枠が足りない場合には、3ページ目も使用して差し支えない。

	企業・団体名	内諾
1	〇〇〇〇協会	
2	株式会社〇〇〇〇	
9		
10		
	行政機関	内諾
1	〇〇〇〇省〇〇〇〇課	
2	〇〇県庁〇〇〇〇課	
3	
4		

当該地域において取組を進める意義①

※戦略的受け入れのターゲット国(3か国まで)、並びにターゲット分野(3分野まで)を記載すること。

外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域)	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野	〇〇分野	〇〇分野	〇〇分野

▼様式自由(次頁と併せて2枚で上記項目を記載すること。)

▼当該地域での取組推進の必要性について記載すること。

また、その際、コロナ禍を踏まえた、当該地域における専修学校の外国人留学生の状況(在籍数やその傾向)など定量的なエビデンスなどを明確にすること。

▼さらに、地域の行政機関が策定する方針(※)や地域の成長産業との関連性などを踏まえて説明すること。

※地域の行政機関が策定する計画や方針の該当箇所の抜粋を記載する場合には、企画提案書最終頁を活用すること。

▼これまで同種の事業に取り組んできた団体は、これまでの取組から得られた成果や新たな課題を明確にし、成果を向上する又は新たな課題に対応する取組であることを説明すること。

▼記載する文字は、メリハリMSJゴシック 11ポイント以上とすること。

当該地域において取組を進める意義②

▼様式自由（前項と併せて2枚で上記項目を記載すること。）

▼当該地域での取組推進の必要性について記載すること。

また、その際、コロナ禍を踏まえた、当該地域における専修学校の外国人留学生の状況（在籍数やその傾向）など定量的なエビデンスなどを明確にすること。

▼さらに、地域の行政機関が策定する方針（※）や地域の成長産業との関連性などを踏まえて説明すること。

※地域の行政機関が策定する計画や方針の該当箇所を抜粋を記載する場合には、企画提案書最終頁を活用すること。

▼これまで同種の事業に取り組んできた団体は、これまでの取組から得られた成果や新たな課題を明確にし、成果を向上する又は新たな課題に対応する取組であることを説明すること。

▼記載する文字は、メリハリMSJゴシック 11ポイント以上とすること。

実施する取組の具体的内容①

▼様式自由

▼受け入れ体制整備に向けて実施する取組を、実施する段階(①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等)を明確に記載し、本事業で実施する内容を具体的に記載すること。

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なK P I (Key Performance Indicator/成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示(新型コロナウイルスの長期化や新たな危機に備える観点からも、留学生をトータルパッケージで支援する仕組みとするため、①～④の全ての取組を行う提案を優先的に採択する。)

- ① 入学前(例: 専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例: 遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例: コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例: 就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

▼記載する文字は、メイリオ MSゴシック 11ポイント以上とすること。

実施する取組の具体的内容②

▼様式自由

▼受け入れ体制整備に向けて実施する取組を、実施する段階(①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等)を明確に記載し、本事業で実施する内容を具体的に記載すること。

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なK P I (Key Performance Indicator/成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示(新型コロナウイルスの長期化や新たな危機に備える観点からも、留学生をトータルパッケージで支援する仕組みとするため、①～④の全ての取組を行う提案を優先的に採択する。)

- ① 入学前(例: 専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例: 遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例: コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例: 就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

▼記載する文字は、メイリオ MSゴシック 11ポイント以上とすること。

実施する取組の具体的内容③

▼様式自由

▼受け入れ体制整備に向けて実施する取組を、実施する段階(①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等)を明確に記載し、本事業で実施する内容を具体的に記載すること。

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なK P I (Key Performance Indicator/成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示(新型コロナウイルスの長期化や新たな危機に備える観点からも、留学生をトータルパッケージで支援する仕組みとするため、①～④の全ての取組を行う提案を優先的に採択する。)

- ① 入学前(例: 専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例: 遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例: コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例: 就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

▼記載する文字は、メイリオ MSゴシック 11ポイント以上とすること。

実施する取組の具体的内容④

▼様式自由

▼受け入れ体制整備に向けて実施する取組を、実施する段階(①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等)を明確に記載し、本事業で実施する内容を具体的に記載すること。

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なK P I (Key Performance Indicator/成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示(新型コロナウイルスの長期化や新たな危機に備える観点からも、留学生をトータルパッケージで支援する仕組みとするため、①～④の全ての取組を行う提案を優先的に採択する。)

- ① 入学前(例: 専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例: 遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例: コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例: 就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

▼記載する文字は、メイリオ MSゴシック 11ポイント以上とすること。

事業実施の年次計画

令和〇年度

令和〇年度

令和〇年度

▼各年度に実施する取組の概要(年次計画)を具体的に記載すること。

▼1年目は専門学校入学前の留学希望生に対する情報発信、2年目は遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、留学生のサポート体制の整備、コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援、3年目はウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援や就職先の新規開拓やマッチング体制の構築、とりまとめなどの流れがわかるように記載すること。

▼所要経費は概算で構わないが、それぞれの年度に行う取組に応じて説得力のある金額とすること。

▼記載する文字は、MSJシック or メリカ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

所要経費:〇〇千円

所要経費:〇〇千円

所要経費:〇〇千円

事業実施に伴うアウトプット

▼様式自由

▼どのような内容の成果物を取りまとめるのかについて、事例を挙げながら、具体的かつ詳細に記載すること。

▼定量的な指標を用いて本取組を行ったことによる成果（見込み）を記載すること。（例：連携校における留学生数の増加、オンライン学習における学習定着度の向上、教職員への負担軽減への寄与、就職率の向上、等）

▼記載する文字は、A11or MSJゴシック 11ポイント以上とすること。

事業実施によって達成する成果及び測定指標

番号	KPI (評価指標)	単位	目標値			当該KPIの測定方法
			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度	
1						
2						
3						
4						
5						

▼「生徒の〇〇に関する習熟度を〇年(事業開始前)に比べて〇%向上する。」など、KPI (Key Performance Indicator) を定め、右の記載欄に具体的な目標値等を示すこと。

▼活動に関する指標(例: 〇〇を△個開発するといった、どれだけ活動するかに関する指標)だけでなく、本事業によって得られる成果に関する指標及び目標も記載すること。

▼KPIの記載欄が足りなければ、適宜追加して記載すること。

▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。(一部の文字がどうしても枠に入りきらない場合にはポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないようにすること)

提案者の専修学校関係委託事業にかかる実績※

※過去5年程度までの期間における実績を記載すること。

▼様式自由

▼これまでに申請者が受託した文部科学省の専修学校関係委託事業について、事業名及び当該事業の成果の申請時点までの実績等（受託事業の成果の活用状況、カリキュラムやプログラムについては他の専修学校等への普及・活用状況）を簡潔に記載すること。その際、代表的な取組についてはその成果報告書を提出すること。なお、提出方法は、受託事業の成果報告書を掲載しているウェブサイトがある場合は、そのURLを記載することとし、ウェブサイトで公開していない場合には、成果報告書の写（PDFデータ）を本企画提案書の別紙として添付すること。

▼複数の受託実績がある場合は、網羅的にすべてを記載する必要はなく、今回の提案内容と関連が深い取組の実績等について記載すること。

▼過去、文部科学省の専修学校関係委託事業の受託実績がない場合、文部科学省の他の委託事業及び他省庁の委託事業等のうち、今回の提案内容と関連の深い取組の実績について記載するとともに成果報告書を本企画提案書の別紙として添付すること。なお、提出方法は文部科学省の専修学校関係委託事業に関する実績の提出方法に準ずること。

▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

本事業終了後※の成果の活用方針・手法

※提案年度ではなく、開発終了後3年程度までの期間を想定して記載すること。

▼様式自由

▼開発した教育カリキュラム・プログラムをどこで、どのように活用し、横展開を図ることを検討しているのか。またその見通しについて、具体的に記載すること。

▼他機関での活用などにより、事業期間終了後においても事業成果の活用・普及状況が検証可能となるよう、フォローアップ体制についても具体的に記載すること。

▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(体制整備) 企画提案書 (13/16)

事業に要する経費見積書の概要

経費項目		予算額
小	項 目	
人	件 費 (消費税込額を含む)	5,000,000
事	業 費	6,223,000
	諸 謝 金	2,000,000
	旅 費	1,000,000
	借 損 料	500,000
	消 耗 品 費 (図書購入費含む)	200,000
	会 議 費	150,000
	通 信 運 搬 費	300,000
	雑 役 務 費	2,000,000
	保 険 料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委 託 費	200,000
合 計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

- ◆人件費
- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
 - ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
 - ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計〇〇〇円

- ◆諸謝金
- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会 ○千円×〇人×〇回
 - ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計〇〇〇円

- ◆旅費
- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会旅費 ○〇千円×〇回
 - ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

合計〇〇〇円

- ◆借損料
- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・サーバーレンタル代 ○〇千円×〇月

合計〇〇〇円

- ◆消耗品費
- ・ボールペン ○百円×〇本
 - ・ハードファイル ○千円×〇冊
 - ・
 - ・

合計〇〇〇円

- ◆会議費
- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
 - ・受け入れ体制構築分科会お茶 150円×〇人

合計〇〇〇円

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。
※各経費項目の**主なもの**を記載してください。すべてを網羅する必要はありません。

- ◆通信運搬費
- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
 - ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計〇〇〇円

- ◆雑役務費
- ・Webサイト構築 ○〇〇円
 - ・報告書印刷費 ○〇〇円
 - ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

合計〇〇〇円

- ◆保険料

- ◆再委託費

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(体制整備) 企画提案書 (14/16)

事業に要する経費見積書の概要

経費項目		予算額
小	項 目	
人	件 費 (消費税相当額を含む)	5,000,000
事	業 費	6,223,000
	諸 謝 金	2,000,000
	旅 費	1,000,000
	借 損 料	500,000
	消 耗 品 費 (図書購入費含む)	200,000
	会 議 費	150,000
	通 信 運 搬 費	300,000
	雑 役 務 費	2,000,000
	保 険 料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委 託 費	200,000
合 計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

- ◆人件費
- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
 - ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
 - ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計〇〇〇円

- ◆諸謝金
- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会 ○千円×〇人×〇回
 - ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計〇〇〇円

- ◆旅費
- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会旅費 ○〇千円×〇回
 - ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

合計〇〇〇円

- ◆借損料
- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・サーバーレンタル代 ○〇千円×〇月

合計〇〇〇円

- ◆消耗品費
- ・ボールペン ○百円×〇本
 - ・ハードファイル ○千円×〇冊
 - ・
 - ・

合計〇〇〇円

- ◆会議費
- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
 - ・受け入れ体制構築分科会お茶 150円×〇人

合計〇〇〇円

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。
※各経費項目の**主なもの**を記載してください。すべてを網羅する必要はありません。

- ◆通信運搬費
- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
 - ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計〇〇〇円

- ◆雑役務費
- ・Webサイト構築 ○〇〇円
 - ・報告書印刷費 ○〇〇円
 - ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

合計〇〇〇円

- ◆保険料

- ◆再委託費

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(体制整備) 企画提案書 (15/16)

事業に要する経費見積書の概要

経費項目		予算額
小	項目	
人	件費 (消費税相当額を含む)	5,000,000
事	業費	6,223,000
	諸謝金	2,000,000
	旅費	1,000,000
	借損料	500,000
	消耗品費 (図書購入費含む)	200,000
	会議費	150,000
	通信運搬費	300,000
	雑役務費	2,000,000
	保険料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委託費	200,000
合計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

- ◆人件費
- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
 - ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
 - ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計〇〇〇円

- ◆諸謝金
- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会 ○千円×〇人×〇回
 - ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計〇〇〇円

- ◆旅費
- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会旅費 ○〇千円×〇回
 - ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

合計〇〇〇円

- ◆借損料
- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・サーバーレンタル代 ○〇千円×〇月

合計〇〇〇円

- ◆消耗品費
- ・ボールペン ○百円×〇本
 - ・ハードファイル ○千円×〇冊
 - ・
 - ・

合計〇〇〇円

- ◆会議費
- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
 - ・受け入れ体制構築分科会お茶 150円×〇人

合計〇〇〇円

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。
※各経費項目の**主なもの**を記載してください。すべてを網羅する必要はありません。

- ◆通信運搬費
- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
 - ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計〇〇〇円

- ◆雑役務費
- ・Webサイト構築 ○〇〇円
 - ・報告書印刷費 ○〇〇円
 - ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

合計〇〇〇円

- ◆保険料

- ◆再委託費

▼様式自由

- ▼本ページは、実施事業に関する事で、1ページから15ページに記載できなかった内容又は補足が必要な内容があれば、記載すること(1~15ページをそれぞれ複製して必要なページを増やすことも可)。ただし、原則18枚以内とすること。
- ▼記載する文字は、メイリオor MSゴシック 11ポイント以上とすること。(一部の文字がどうしても枠に入りきらない場合にはポイント进行调整しても構わないが、極端に小さくならないようにすること)

事業名

〇〇〇〇のための□□□□事業（MSJブック or メリオ14ポイント）

提案者名

〇〇△△（MSJブック or メリオ14ポイント）

所用経費

12,345千円（提案年度の所要経費のみ記載）（MSJブック or メリオ14ポイント） ※千円未満切捨て

事業の趣旨・目的

①〇〇〇〇〇〇〇〇⑩〇〇〇〇〇〇〇〇〇⑳〇〇〇〇〇〇〇〇〇㉔

②
③ (MSJブック or メリオ 11ポイント以上)
④ (1行30文字 × ㉔行以内)
⑤ ※750文字以内を厳守すること。

⑥
⑦
⑧
⑨
⑩行目

⑪
⑫
⑬
⑭
⑮

⑯
⑰
⑱

⑳行目
㉑
㉒

㉓
㉔行目

事業実施体制

- ▼様式自由
- ▼事業を推進するために構築する体制を記載すること。
- ▼記載する文字は、MSJブック or メリオ 11ポイント以上とすること。

コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備の各取組（以下、各取組という。）の進捗管理に係る方策、工夫

▼様式自由

▼各取組の進捗を確認し、取組ごとの質の均衡を図るための方策や工夫などについて記載すること。

ex) 記載事項例

各取組への助言が可能な有識者の活用、各取組同士の横のつながりを持たせるための情報共有ツールの導入 等

▼各取組についての課題を把握し集約し、解決策を提示するための工夫について記載すること。

▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。ただし、記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

各取組における成果の体系化、普及・定着方策の立案・実践

▼様式自由

- ▼各取組によってまとめられる成果を、他の専修学校が活用しやすいよう、分野毎の類型や指導方法毎の類型に分類し、体系的に整理する方策を現時点の見込みから記載する。
- ▼各取組から得られる様々なデータを分析し、成果として対外的にわかりやすく発信する方策を記載すること。
- ▼立案した同方策のうち、その一部を実施する。
ex) 記載事項例
普及ガイドラインの作成、セミナー等広報活動の実施 等
- ▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。ただし、記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

事業実施の年次計画

令和〇年度

令和〇年度

令和〇年度

- ▼当該事業を行うにあたって、各年度に実施する取組の概要(年次計画)を具体的に記載すること。
- ▼1年目は普及定着方策の検討・実施、各取組間の連絡調整、2年目は各取組間の連絡調整・助言、諸外国等の動向調査、3年目は各プロジェクトにおける成果のとりまとめなど、具体的に実施する内容を示しつつ、流れがわかるように記載すること。
- ▼記載する文字は、MSJ[®]シク or メリカ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

所要経費：〇〇千円

所要経費：〇〇千円

所要経費：〇〇千円

提案年度の取組①

▼様式自由

▼提案年度に取り組む内容について、具体的に記載すること。

▼調査を実施する場合には、調査名、調査目的、調査対象、調査手法、調査項目、分析内容（集計項目）、調査結果を成果にどのように反映するか、を記載すること。

※上記は最小限の項目例であり、必要に応じて追加することは差し支えない。

▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

提案年度の取組②

▼様式自由

▼提案年度に取り組む内容について、具体的に記載すること。

▼調査を実施する場合には、調査名、調査目的、調査対象、調査手法、調査項目、分析内容（集計項目）、調査結果を成果にどのように反映するか、を記載すること。

※上記は最小限の項目例であり、必要に応じて追加することは差し支えない。

▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

事業実施に伴うアウトプット(成果物)

▼様式自由

▼アウトプットの概要を具体的かつ明確に記載すること。

▼複数年度で取り組む場合は、最終的なアウトプットと各年度のアウトプットの双方がわかるように記載すること。

▼コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備における成果の体系化、普及・広報・定着方策の検討における記載も踏まえた記載とすること。

▼記載する文字は、MSゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

事業実施によって達成する成果及び測定指標

番号	KPI（評価指標）	単位	目標値			当該KPIの測定方法
			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度	
1						
2						
3						
4						
5						

▼「生徒の〇〇に関する習熟度を〇年（事業開始前）に比べて〇%向上する。」など、KPI（Key Performance Indicator）を定め、右の記載欄に具体的な目標値等を示すこと。

▼活動に関する指標（例：〇〇を△個開発するといった、どれだけ活動するかに関する指標）だけでなく、本事業によって得られる成果に関する指標及び目標も記載すること。

▼KPIの記載欄が足りなければ、適宜追加して記載すること。

▼記載する文字は、MSJシック or メリオ 11ポイント以上とすること。（一部の文字がどうしても枠に入りきらない場合にはポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないようにすること）

提案者の専修学校関係委託事業にかかる実績※

※過去5年程度までの期間における実績を記載すること。

▼様式自由

▼これまでに申請者が受託した文部科学省の専修学校関係委託事業について、事業名及び当該事業の成果の申請時点までの実績等(受託事業の成果の活用状況、カリキュラムやプログラムについては他の専修学校等への普及・活用状況)を簡潔に記載すること。その際、代表的な取組についてはその成果報告書を提出すること。なお、提出方法は、受託事業の成果報告書を掲載しているウェブサイトがある場合は、そのURLを記載することとし、ウェブサイトで公開していない場合には、成果報告書の写(PDFデータ)を本企画提案書の別紙として添付すること。

▼複数の受託実績がある場合は、網羅的にすべてを記載する必要はなく、今回の提案内容と関連が深い取組の実績等について記載すること。

▼過去、文部科学省の専修学校関係委託事業の受託実績がない場合、文部科学省の他の委託事業及び他省庁の委託事業等のうち、今回の提案内容と関連の深い取組の実績について記載するとともに成果報告書を本企画提案書の別紙として添付すること。なお、提出方法は文部科学省の専修学校関係委託事業に関する実績の提出方法に準ずること。

▼記載する文字は、MSJゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

企業等への成果の周知及び普及等に関する手法の提案

▼様式自由

▼外国人留学生の就職を促進するという観点から、企業等への成果の普及方策について簡潔に記載すること。

▼記載する文字は、MSJゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(連絡調整会議) 企画提案書 (11/14)

事業に要する経費見積書の概要 (〇年度)

経費項目		予算額
小	項 目	
人	件 費 (消費税込額を含む)	5,000,000
事	業 費	6,223,000
	諸 謝 金	2,000,000
	旅 費	1,000,000
	借 損 料	500,000
	消 耗 品 費 (図書購入費含む)	200,000
	会 議 費	150,000
	通 信 運 搬 費	300,000
	雑 役 務 費	2,000,000
	保 険 料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委 託 費	200,000
合 計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

◆人件費

- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
- ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
- ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計○○〇円

◆諸謝金

- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
- ・プログラム開発分科会 ○千円×〇人×〇回
- ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計○○〇円

◆旅費

- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
- ・プログラム開発分科会旅費 ○〇千円×〇回
- ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

計○○〇円

◆借損料

- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
- ・プログラム開発分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
- ・実証講座分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
- ・実証機材借料 ○〇千円×〇月

合計○○〇円

◆消耗品費

- ・ボールペン ○百円×〇本
- ・ルードファイル ○千円×〇冊
- ・
- ・

合計○○円

◆会議費

- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
- ・プログラム開発分科会お茶 150円×〇人
- ・実証講座分科会お茶 150円×〇人

合計○○円

◆通信運搬費

- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
- ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計○○円

◆雑役務費

- ・コンテンツ開発費 ○〇〇円
- ・報告書印刷費 ○〇〇円
- ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

◆再委託費

◆保険料

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。
 ※各経費項目の主なものを記載してください。すべてを網羅する必要はありません。
 ※年次計画に記載のあった全ての年度分を年度毎に作成してください。

令和○年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(連絡調整会議) 企画提案書 (12/14)

事業に要する経費見積書の概要 (○年度)

経費項目		予算額
小	項 目	
人	件 費 (消費税込額を含む)	5,000,000
事	業 費	6,223,000
	諸 謝 金	2,000,000
	旅 費	1,000,000
	借 損 料	500,000
	消 耗 品 費 (図書購入費含む)	200,000
	会 議 費	150,000
	通 信 運 搬 費	300,000
	雑 役 務 費	2,000,000
	保 険 料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委 託 費	200,000
合 計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

- ◆人件費
- ・事業専任職員賃金 ○千円×○月
 - ・コーディネーター賃金 ○千円×○月
 - ・人件費附帯経費 ○○千円

合計○○○円

- ◆諸謝金
- ・企画推進委員会謝金 ○千円×○人×○回
 - ・プログラム開発分科会 ○千円×○人×○回
 - ・実証講座分科会 ○千円×○人×○回

合計○○○円

- ◆旅費
- ・企画推進委員会実施旅費 ○○千円×○回
 - ・プログラム開発分科会旅費 ○○千円×○回
 - ・実証講座分科会旅費 ○○千円×○回

計○○○円

- ◆借損料
- ・企画推進委員会会議室借料 ○○千円×○回
 - ・プログラム開発分科会会議室借料 ○○千円×○回
 - ・実証講座分科会会議室借料 ○○千円×○回
 - ・実証機材借料 ○○千円×○月

合計○○○円

- ◆消耗品費
- ・ボールペン ○百円×○本
 - ・ノートファイル ○千円×○冊
 - ・
 - ・

合計○○○円

- ◆会議費
- ・企画推進委員会お茶 150円×○人
 - ・プログラム開発分科会お茶 150円×○人
 - ・実証講座分科会お茶 150円×○人

合計○○○円

- ◆通信運搬費
- ・報告書郵送費 ○円×○箇所
 - ・実証講座案内郵送 ○円×○箇所

合計○○○円

- ◆雑役務費
- ・コンテンツ開発費 ○○○円
 - ・報告書印刷費 ○○○円
 - ・事務職員派遣 ○○○円×20日×○月

◆再委託費

◆保険料

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。
 ※各経費項目の主なものを記載してください。すべてを網羅する必要はありません。
 ※年次計画に記載のあった全ての年度分を年度毎に作成してください。

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(連絡調整会議) 企画提案書 (13/14)

事業に要する経費見積書の概要 (〇年度)

経費項目		予算額
小	項 目	
人	件 費 (消費税込額を含む)	5,000,000
事	業 費	6,223,000
	諸 謝 金	2,000,000
	旅 費	1,000,000
	借 損 料	500,000
	消 耗 品 費 (図書購入費含む)	200,000
	会 議 費	150,000
	通 信 運 搬 費	300,000
	雑 役 務 費	2,000,000
	保 険 料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委 託 費	200,000
合 計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

◆人件費

- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
- ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
- ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計〇〇〇円

◆諸謝金

- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
- ・プログラム開発分科会 ○千円×〇人×〇回
- ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計〇〇〇円

◆旅費

- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
- ・プログラム開発分科会旅費 ○〇千円×〇回
- ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

計〇〇〇円

◆借損料

- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
- ・プログラム開発分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
- ・実証講座分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
- ・実証機材借料 ○〇千円×〇月

合計〇〇〇円

◆消耗品費

- ・ボールペン ○百円×〇本
- ・ルーズファイル ○千円×〇冊
- ・
- ・

合計〇〇円

◆会議費

- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
- ・プログラム開発分科会お茶 150円×〇人
- ・実証講座分科会お茶 150円×〇人

合計〇〇円

◆通信運搬費

- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
- ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計〇〇円

◆雑役務費

- ・コンテンツ開発費 ○〇〇円
- ・報告書印刷費 ○〇〇円
- ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

◆再委託費

◆保険料

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。
 ※各経費項目の主なものを記載してください。すべてを網羅する必要はありません。
 ※年次計画に記載のあった全ての年度分を年度毎に作成してください。

▼様式自由

- ▼本ページは、実施事業に関する事で、1ページから13ページに記載できなかった内容又は補足が必要な内容があれば、記載すること(1~13ページをそれぞれ複製して必要なページを増やすことも可)。ただし、原則16枚以内とすること。
- ▼記載する文字は、メイリオor MSゴシック 11ポイント以上とすること。(一部の文字がどうしても枠に入りきらない場合にはポイント調整しても構わないが、極端に小さくならないようにすること)

事業名

○○○○のための□□□□事業（メリtor MSJ[®]シク 14ポイント）

申請者

○○法人 △△△△（メリtor MSJ[®]シク 14ポイント）

申請額

12,545千円
（メリtor MSJ[®]シク 14ポイント） ※千円未満切捨て

事業の趣旨・目的

①○○○○○○○○○○⑩○○○○○○○○○○⑳○○○○○㉕

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩行目

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑳行目

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

▼メリtor MSJ[®]シク 11ポイント

▼1行 30文字 × 25行以内
※750文字以内を厳守すること。

取組の実施体制イメージ・連携機関

▼取組を実施する上での実施体制のイメージを記載すること。

▼主たる連携機関を記載すること。特に、専門学校が参画し、職業実践専門課程認定課程（学科）が連携機関として参画する場合には明記し、機関名に（認定課程）と付記すること。また、「役割・協力事項」には役割に応じて「実証講座実施」「プログラムの検討・開発」などと具体的に記載すること。

実施する取組の具体的内容①

▼様式自由

▼それぞれの取組について、申請時に想定している具体的な取組内容について記載すること。例えば、どのような手法で、どのような内容の調査を実施し、どのような分析を行う予定なのか、それらの成果をどのように体制整備の各取組や分野横断連絡調整会議にフィードバックしていくかなど、取組内容を具体的に記載するよう心がけること。

▼記載する文字は、A4用紙 MSゴシック 11ポイント以上とすること。

実施する取組の具体的内容②

▼様式自由

▼それぞれの取組について、申請時に想定している具体的な取組内容について記載すること。例えば、どのような手法で、どのような内容の調査を実施し、どのような分析を行う予定なのか、それらの成果をどのように体制整備の各取組や分野横断連絡調整会議にフィードバックしていくかなど、取組内容を具体的に記載するよう心がけること。

▼記載する文字は、A4用紙 MSゴシック 11ポイント以上とすること。

事業実施の年度計画

令和〇年度

令和〇年度

令和〇年度

- ▼当該事業を行うにあたって、各年度に実施する取組の概要(年次計画)を具体的に記載すること。
- ▼具体的に実施する内容を示しつつ、流れがわかるように記載すること。
- ▼記載する文字は、MSゴシック or メイリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

所要経費:〇〇千円

所要経費:〇〇千円

所要経費:〇〇千円

事業実施に伴うアウトプット

▼様式自由

▼どのような内容の成果物が生じるのかについて、事例を挙げながら、具体的かつ詳細に記載すること。

▼記載する文字は、メイリオor MSゴシック 11ポイント以上とすること。

提案者の専修学校関係委託事業にかかる実績※

※過去5年程度までの期間における実績を記載すること。

▼様式自由

▼これまでに申請者が受託した文部科学省の専修学校関係委託事業について、事業名及び当該事業の成果の申請時点までの実績等(受託事業の成果の活用状況、カリキュラムやプログラムについては他の専修学校等への普及・活用状況)を簡潔に記載すること。

その際、代表的な取組についてはその成果報告書を提出すること。

なお、提出方法は、受託事業の成果報告書を掲載しているウェブサイトがある場合は、そのURLを記載することとし、ウェブサイトで公開していない場合には、成果報告書の写(PDFデータ)を本企画提案書の別紙として添付すること。

▼複数の受託実績がある場合は、網羅的にすべてを記載する必要はなく、今回の提案内容と関連が深い取組の実績等について記載すること。

▼過去、文部科学省の専修学校関係委託事業の受託実績がない場合、文部科学省の他の委託事業及び他省庁の委託事業等のうち、今回の提案内容と関連の深い取組の実績について記載するとともに成果報告書を本企画提案書の別紙として添付すること。

なお、提出方法は文部科学省の専修学校関係委託事業に関する実績の提出方法に準ずること。

▼記載する文字は、MSJゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

本事業終了後※の成果の活用方法・手法の提言

▼様式自由

▼事業の成果物をどこで、どのように活用することが見込まれるのか、またその実現可能性について、具体的に記載すること。

▼記載する文字は、MSJゴシック or メリオ 11ポイント以上とすること。記載すべき事項が多く、枠に入り切らない場合のみ文字のポイントを調整しても構わないが、極端に小さくならないよう注意すること。

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(実態調査) 企画提案書 (7/10)

事業に要する経費見積書の概要

経費項目		予算額
小	項 目	
人	件 費 (消費税込額を含む)	5,000,000
事	業 費	6,223,000
	諸 謝 金	2,000,000
	旅 費	1,000,000
	借 損 料	500,000
	消 耗 品 費 (図書購入費含む)	200,000
	会 議 費	150,000
	通 信 運 搬 費	300,000
	雑 役 務 費	2,000,000
	保 険 料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委 託 費	200,000
合 計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

- ◆人件費
- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
 - ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
 - ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計○○〇円

- ◆諸謝金
- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会 ○千円×〇人×〇回
 - ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計○○〇円

- ◆旅費
- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会旅費 ○〇千円×〇回
 - ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

合計○○〇円

- ◆借損料
- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・サーバーレンタル代 ○〇千円×〇月

合計○○〇円

- ◆消耗品費
- ・ボールペン ○百円×〇本
 - ・ハードファイル ○千円×〇冊
 - ・
 - ・

合計○○〇円

- ◆会議費
- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
 - ・受け入れ体制構築分科会お茶 150円×〇人

合計○○〇円

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。

※各経費項目の**主なもの**を記載してください。すべてを網羅する必要はありません。

- ◆通信運搬費
- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
 - ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計○○〇円

- ◆雑役務費
- ・Webサイト構築 ○〇〇円
 - ・報告書印刷費 ○〇〇円
 - ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

合計○○〇円

- ◆保険料

- ◆再委託費

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(実態調査) 企画提案書 (8/10)

事業に要する経費見積書の概要

経費項目		予算額
小	項目	
人	件費 (消費税相当額を含む)	5,000,000
事	業費	6,223,000
	諸謝金	2,000,000
	旅費	1,000,000
	借損料	500,000
	消耗品費 (図書購入費含む)	200,000
	会議費	150,000
	通信運搬費	300,000
	雑役務費	2,000,000
	保険料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委託費	200,000
合計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

- ◆人件費
- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
 - ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
 - ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計〇〇〇円

- ◆諸謝金
- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会 ○千円×〇人×〇回
 - ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計〇〇〇円

- ◆旅費
- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会旅費 ○〇千円×〇回
 - ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

合計〇〇〇円

- ◆借損料
- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・サーバーレンタル代 ○〇千円×〇月

合計〇〇〇円

- ◆消耗品費
- ・ボールペン ○百円×〇本
 - ・ハードファイル ○千円×〇冊
 - ・
 - ・

合計〇〇〇円

- ◆会議費
- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
 - ・受け入れ体制構築分科会お茶 150円×〇人

合計〇〇〇円

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。

※各経費項目の**主なもの**を記載してください。すべてを網羅する必要はありません。

- ◆通信運搬費
- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
 - ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計〇〇〇円

- ◆雑役務費
- ・Webサイト構築 ○〇〇円
 - ・報告書印刷費 ○〇〇円
 - ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

合計〇〇〇円

- ◆保険料

- ◆再委託費

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」(実態調査) 企画提案書 (9/10)

事業に要する経費見積書の概要

経費項目		予算額
小	項目	
人	件費 (消費税相当額を含む)	5,000,000
事	業費	6,223,000
	諸謝金	2,000,000
	旅費	1,000,000
	借損料	500,000
	消耗品費 (図書購入費含む)	200,000
	会議費	150,000
	通信運搬費	300,000
	雑役務費	2,000,000
	保険料	73,000
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率		1,122,300
再	委託費	200,000
合計 ※千円未満は切捨て		12,545,000

摘要 (各経費項目に関して主な計上予算)

- ◆人件費
- ・事業専任職員賃金 ○千円×〇月
 - ・コーディネーター賃金 ○千円×〇月
 - ・人件費附帯経費 ○〇千円

合計〇〇〇円

- ◆諸謝金
- ・企画推進委員会謝金 ○千円×〇人×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会 ○千円×〇人×〇回
 - ・実証講座分科会 ○千円×〇人×〇回

合計〇〇〇円

- ◆旅費
- ・企画推進委員会実施旅費 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会旅費 ○〇千円×〇回
 - ・実証講座分科会旅費 ○〇千円×〇回

合計〇〇〇円

- ◆借損料
- ・企画推進委員会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・受け入れ体制構築分科会会議室借料 ○〇千円×〇回
 - ・サーバーレンタル代 ○〇千円×〇月

合計〇〇〇円

- ◆消耗品費
- ・ボールペン ○百円×〇本
 - ・ハードファイル ○千円×〇冊
 - ・
 - ・

合計〇〇〇円

- ◆会議費
- ・企画推進委員会お茶 150円×〇人
 - ・受け入れ体制構築分科会お茶 150円×〇人

合計〇〇〇円

※枠の大きさは、適宜修正し、計上しない費目の枠は削除してください。

※各経費項目の**主なもの**を記載してください。すべてを網羅する必要はありません。

- ◆通信運搬費
- ・報告書郵送費 ○円×〇箇所
 - ・実証講座案内郵送 ○円×〇箇所

合計〇〇〇円

- ◆雑役務費
- ・Webサイト構築 ○〇〇円
 - ・報告書印刷費 ○〇〇円
 - ・事務職員派遣 ○〇〇円×20日×〇月

合計〇〇〇円

- ◆保険料

- ◆再委託費

▼様式自由

▼本ページは、実施事業に関する事で、1ページから9ページに記載できなかった内容又は補足が必要な内容があれば、記載すること。ただし、最高でも10枚以内に納めること。

▼記載する文字はメイリオor MSゴシック 11ポイント以上とすること。

(様式2-1)

令和○年度	番号
-------	----

令和 年 月 日

令和○年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」事業計画書

文部科学省 ○○○局長 殿

所在地
法人名
代表者
職氏名

令和○年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
に関する事業計画書の提出について

令和○年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」について、事業計画書を提出します。

令和〇年度

番号

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」事業計画書

1 委託事業の内容

コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備

2 事業名

--

3 代表機関

■代表機関(申請法人)等

法人名	
理事長名	
所在地	

■事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

4 構成機関・構成員等

(1) 教育機関

	名称	役割等	内諾	都道府県名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

※内諾済の場合には、内諾欄に「○」を記入(以下同じ)

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

※行が足りない場合は適宜追加して記載すること(以下同じ)

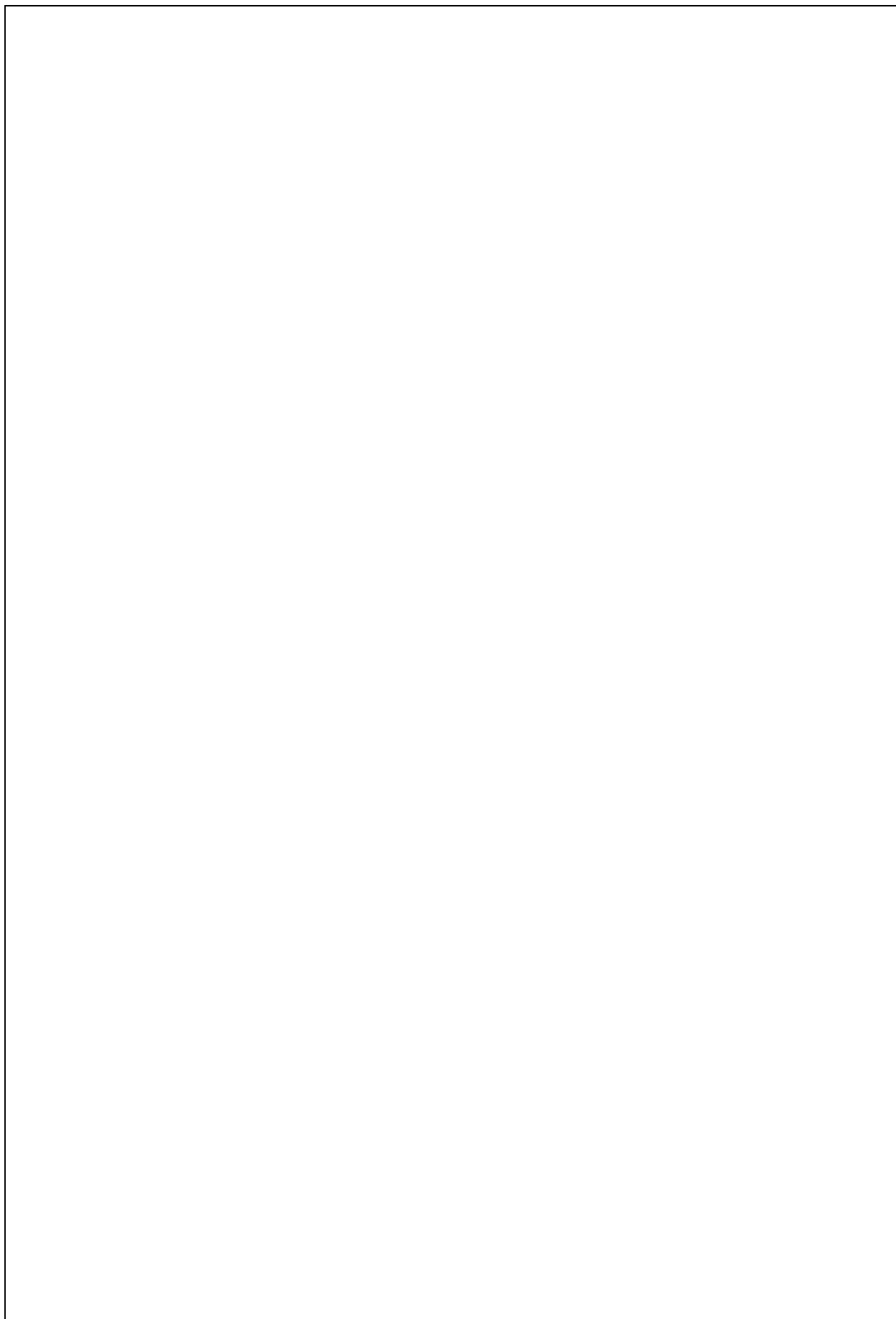
(2) 企業・団体

	氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
1					
2					
3					
4					
5					

(3) 行政機関

	氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
1					
2					
3					

(4) 事業の実施体制(イメージ)



5 事業の内容等

(1) 事業の趣旨・目的について

--

(750文字以内)

(2) 当該地域において取組を進める意義

i) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域)

--	--	--

ii) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野

--	--	--

▼当該地域での取組推進の必要性について記載すること。

また、その際、コロナ禍を踏まえた、当該地域における専修学校の外国人留学生の状況(在籍数やその傾向)など定量的なエビデンスなどを明確にすること。

▼さらに、地域の行政機関が策定する方針(※)や地域の成長産業との関連性などを踏まえて説明すること。

▼これまで同種の事業に取り組んできた団体は、これまでの取組から得られた成果や新たな課題を明確にし、成果を向上する又は新たな課題に対応する取組であることを説明すること。

(750文字以内)

(3)実施する取組の具体的内容

- ① ○○○○○ (←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator／成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

▼本欄記載の取組に関する具体的な実施スケジュールについては、別紙3にておおよその時期を明らかにすること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

- ② ○○○○○○(←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator／成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

▼本欄記載の取組に関する具体的な実施スケジュールについては、別紙3にておおよその時期を明らかにすること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

- ③ ○○○○○○(←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator／成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

▼本欄記載の取組に関する具体的な実施スケジュールについては、別紙3にておおよその時期を明らかにすること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

- ④ ○○○○○○(←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator／成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

▼本欄記載の取組に関する具体的な実施スケジュールについては、別紙3にておおよその時期を明らかにすること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

(4) 上記(3)の取組に付随して実施する取組(実態調査を含む。)

▼調査を実施する場合には、事業計画書別紙2にも詳細を記載してください。

(5) 今年度に取り組む具体的な内容について

(6)事業実施に伴うアウトプット

- ▼どのような内容の成果物が生じるのかについて、事例を挙げながら、具体的かつ詳細に記載すること。
- ▼定量的な指標を用いて本取組を行ったことによる成果(見込み)を記載すること。
(例:連携校における留学生数の増加、オンライン学習における学習定着度の向上、教職員への負担軽減への寄与、就職率の向上 等)

(7)事業実施によって達成する成果及び測定指標

KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 ○年度	令和 ○年度	令和 ○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法) ※簡潔に記載すること。対象者及び人数、手法、実施時期等を記載すること(以下同じ)。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 ○年度	令和 ○年度	令和 ○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 ○年度	令和 ○年度	令和 ○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 ○年度	令和 ○年度	令和 ○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業 開始前	令和 ○年度	令和 ○年度	令和 ○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						

※「単位」欄には KPI として設定した指標に関する測定単位(「個」、「人」、「%」など)

※「達成度」欄については、当該年度の目標値に対する実績値の割合を算出して記載すること。

(8)事業終了後に実施予定の取組及び成果の活用方針・手法

- ▼事業の成果物をどこで、どのように活用することを検討しているのか、またその実現可能性について、具体的に記載すること。
- ▼他機関での活用などにより、事業期間終了後においても事業成果の活用・普及状況が検証可能となるよう、フォローアップ体制についても具体的に記載すること。

外国出張について

出張国	
目的	
日程	
人数	人
所属学校・役職名 及び氏名／役割	
出張先での 具体的取組内容	
所要額(概算)	円

事例調査について

事業名	
目的	
場所	
日程	
人数	人
所属学校・役職名 及び氏名／役割	
内容	予定している調査内容等を具体的に記載してください。
所要額(概算)	円

(※)国内・海外を問いません

今年度の取組に関する年間スケジュール

	取組内容①	取組内容②	取組内容③	取組内容④	取組内容⑤
	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載
4月					
5月	<p>※今年度に取り組む内容について、取り組む内容ごとに、大まかな内容と実施時期を記載してください。</p> <p>(例) 取組内容:〇〇検討会議、〇〇実証講座、〇〇調査など それぞれ取り組む内容を簡単に該当する月に記載。</p> <p>※継続して取り組む内容については、矢印等を使って示していただいで構いません。</p> <p>※会議や調査、実証講座等、「ii)今年度の具体的活動」欄に記載した取組につき、おおよその実施時期等を記載してください。</p> <p>※1枚に収まらない場合は、次ページ以降に本表を複製して記載いただいで構いません。</p> <p>※本表の記載に当たっては、この説明用のテキストボックスを削除してかまいません。</p>				
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					

再委託について

(1)再委託

※本様式は、該当がある場合のみ作成すること。

事業名			
再委託先	企業名		
	住所		
再委託の必要性			
再委託を行う業務内容			
所要額	円		
内 訳	経費額		経費積算
	人件費	円	
	諸謝金	円	
	旅費	円	
	借損料	円	
	消耗品費	円	
	会議費	円	
	通信運搬費	円	
	雑役務費	円	
	保険料	円	
	一般管理費	円	
	再委託費	円	
	合計	円	

(2) 履行体制に関する事項

※再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときに記載すること。

再々委託の相手方の住所及び氏名	
再々委託を行う業務の範囲	

所要経費一覧表

事業名 _____

団体名 _____

所要経費

(単位:円)

経費項目	予算額	備考
小項目		
人件費 (消費税相当額を含む)	0	
事業費	0	
諸謝金	0	
旅費	0	
借損料	0	
消耗品費 (図書購入費含む)	0	
会議費	0	
通信運搬費	0	
雑役務費 (印刷製本費等)	0	
保険料	0	
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率	0	
再委託費	0	
合計	0	

※該当する場合のみ提出する。

一般管理費設定率の決定調書

事業名 _____

団体名 _____

設定率の比較

下記①～③の率から、最も低い率を当該事業における一般管理費の率とし、精算時においてもこの率を用いる。

①	10%(設定率の上限)
---	-------------

算出率 10.00%

②	法人が整備している受託規定に定められた率 <small>※規定がある場合は、別添のうえ、当該率を入力。規定のない場合は入力せず、③を算出し記載すること。</small>
---	---

算出率

③	直近の事業年度の損益計算書及び収支計算書等による法人の支出の額に占める管理費の率
---	--

算出率

※上記③の算出式

(財団法人又は社団法人)

算出率(%) = 管理費 / (総事業費 - 間接事業費) × 100

* 収支計算書から算出すること。

(学校法人又は準学校法人)

算出率(%) = [(人件費 - 教員人件費) + 管理経費] / 事業活動支出の部^{※1} 合計 × 100

(※1) 学校法人会計基準改正前の年度に当たっては、消費支出の部と読み替えること。

設定率	10.00%
算出額	0

※①～③の算出率のうち、最も低い率

※(人件費 + 事業費) × 設定率

必要経費内訳表

事業名 _____
 団体名 _____

(単位:円)

経費項目 小項目	金額	積算内訳										参考資料No.		
		摘要	人数等	単位	数量	単位	単価							
人件費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		賞金				X			X	@	円	=	0円	
		人件費付帯経費 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
		消費税相当額				X			X		10%	=	0円	
事業費														
諸謝金	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		委員会出席謝金等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
旅費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		委員会出席旅費等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
借損料	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		会場借料等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
消耗品費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		CD-ROM等 (物品名を記入) (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
会議費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		お茶代等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
通信運搬費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		開催通知等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
雑務費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		印刷、広告等 派遣契約等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
保険料	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		傷害保険(講師) (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
一般管理費	0円	設定率												
再委託費	0円	再委託を行うもの				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
合計	0円													

(注1) 行が足りない場合は、適宜追加してもよい。(行の書式はそろえること)
 (注2) 単価の出せないものは、追加行に事項と金額を入力し、見積書等内訳を添付すること。
 (注3) A4紙に印刷し提出すること。(文字の判読が困難となる場合は複数ページに渡っても差し支えない)

(様式2-2)

令和〇年度	番号
-------	----

年 月 日

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」事業計画書

文部科学省 ○○○○局長 殿

所在地
法人名
代表者
職氏名

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」に関する事業計画書の提出について

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」について、事業計画書を提出します。

令和〇年度

番号

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業 事業計画書

1 委託事業の内容

分野横断連絡調整会議

2 事業名

3 代表機関

■代表機関(申請法人)等

法人名	
代表者名	
所在地	

■事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

4 構成機関・構成員等

(1) 教育機関

	名称	役割等	内諾	都道府県名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

※内諾済の場合には、内諾欄に「○」を記入(以下同じ)

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

※行が足りない場合は適宜追加して記載すること(以下同じ)

(2) 企業・団体

	名称	役割等	内諾	都道府県名
1				
2				
3				
4				
5				

(3) 行政機関

	名称	役割等	内諾	都道府県名
1				
2				
3				

(4)事業の実施体制(イメージ)



(5)各機関の役割・協力事項について

○教育機関

○企業・団体

○行政機関

5 事業の内容等

(1) コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備の各取組の進捗管理に係る方策、工夫

▼各取組の進捗を確認し、取組ごとの質の均衡を図るための方策や工夫などについて記載すること。

ex) 記載事項例

各取組への助言が可能な有識者の活用、各取組同士の横のつながりを持たせるための情報共有ツールの導入 等

▼各取組についての課題を把握し集約し、解決策を提示するための工夫について記載すること。

(540文字以内)

(2) 各取組における成果の体系化、普及・定着方策の立案・実践

▼各取組によってまとめられる成果を、他の専修学校が活用しやすいよう、分野毎の類型や指導方法毎の類型に分類し、体系的に整理する方策を現時点の見込みから記載する。

▼各取組から得られる様々なデータを分析し、成果として対外的にわかりやすく発信する方策を記載すること。

▼立案した同方策のうち、その一部を実施する。

ex) 記載事項例

普及ガイドラインの作成、セミナー等広報活動の実施 等

(3) 具体的な取組

i) 計画の全体像

▼1年目は普及定着方策の検討・実施、各取組間の連絡調整、2年目は各取組間の連絡調整・助言、諸外国等の動向調査、3年目は各取組における成果のとりまとめなど、具体的に実施する内容を示しつつ、流れがわかるように記載すること。

ii) 今年度の具体的活動

▼今年度に取り組む内容について、具体的に記載すること。

※記載に当たっては、昨年度の取組の成果や課題についても記載し、それらを踏まえて今年度どのように取り組むのかを記載してください(昨年度から継続して受託している団体のみ)

▼会議や調査、実証講座を実施する場合には次ページ以降の記載例を参考にしてください。

○事業を推進する上で設置する会議 ※複数の会議を設置する場合には、欄を適宜追加して記載すること。

会議名 ①			
目的・ 役割			
検討の 具体的 内容			
委員数	人	開催頻度	回

△△委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名	旅費
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

※会議開催に当たり旅費の支給対象となる者には、旅費欄に「○」を記入すること

○事業を推進する上で実施する調査 ※複数の調査を設置する場合には、適宜追加して記載すること。

調 査 名	
調 査 目 的	
調 査 対 象	
調 査 手 法	
調 査 項 目	
分 析 内 容 (集計項目)	

※上記は最小限の項目例であり、必要に応じて追加することは差し支えない。

※上記の項目が含まれていれば、上記表形式以外の記載とすることは差し支えない。

(5)事業実施に伴うアウトプット(成果物)

▼アウトプットの概要を具体的かつ明確に記載すること。

▼複数年度で取り組む場合は、最終的なアウトプットと各年度のアウトプットの双方がわかるように記載すること。

▼コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備における成果の体系化、普及・広報・定着方策の検討における記載も踏まえた記載とすること。

▼複数年度で取り組む場合は、最終的なアウトプットと各年度のアウトプットの双方がわかるように記載してください。

(6)事業実施によって達成する成果及び測定指標

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和○年度	令和○年度	令和○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法) ※簡潔に記載すること。対象者及び人数、手法、実施時期等を記載すること(以下同じ)。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和○年度	令和○年度	令和○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和○年度	令和○年度	令和○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和○年度	令和○年度	令和○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和○年度	令和○年度	令和○年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						

※「単位」欄には KPI として設定した指標に関する測定単位(「個」、「人」、「%」など)

※「達成度」欄については、当該年度の目標値に対する実績値の割合を算出して記載すること。

今年度の取組に関する年間スケジュール

	取組内容①	取組内容②	取組内容③	取組内容④	取組内容⑤
	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載
4月					
5月	<p>※今年度に取り組む内容について、取り組む内容ごとに、大まかな内容と実施時期を記載してください。</p> <p>(例) 取組内容:〇〇検討会議、〇〇実証講座、〇〇調査など それぞれ取り組む内容を簡単に該当する月に記載。</p> <p>※継続して取り組む内容については、矢印等を使って示していただいで構いません。</p> <p>※会議や調査、実証講座等、「ii)今年度の具体的活動」欄に記載した取組につき、おおよその実施時期等を記載してください。</p> <p>※1枚に収まらない場合は、次ページ以降に本表を複製して記載いただいで構いません。</p> <p>※本表の記載に当たっては、この説明用のテキストボックスを削除してかまいません。</p>				
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					

再委託について

(1)再委託

※本様式は、該当がある場合のみ作成すること。

事業名			
再委託先	企業名		
	住所		
再委託の必要性			
再委託を行う業務内容			
所要額	円		
内 訳	経費額		経費積算
	人件費	円	
	諸謝金	円	
	旅費	円	
	借損料	円	
	消耗品費	円	
	会議費	円	
	通信運搬費	円	
	雑役務費	円	
	保険料	円	
	一般管理費	円	
	再委託費	円	
	合計	円	

(2) 履行体制に関する事項

※再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときに記載すること。

再々委託の相手方の住所及び氏名	
再々委託を行う業務の範囲	

所要経費一覧表

事業名 _____

団体名 _____

所要経費

(単位:円)

経 費 項 目	予算額	備 考
小 項 目		
人 件 費 (消費税相当額を含む)	0	
事 業 費	0	
諸 謝 金	0	
旅 費	0	
借 損 料	0	
消 耗 品 費 (図書購入費含む)	0	
会 議 費	0	
通 信 運 搬 費	0	
雑 役 務 費 (印刷製本費等)	0	
保 険 料	0	
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率	0	
再 委 託 費	0	
合 計	0	

※該当する場合のみ提出する。

一般管理費設定率の決定調書

事業名 _____

団体名 _____

設定率の比較

下記①～③の率から、最も低い率を当該事業における一般管理費の率とし、精算時においてもこの率を用いる。

①	10%(設定率の上限)
---	-------------

算出率 10.00%

②	法人が整備している受託規定に定められた率 <small>※規定がある場合は、別添のうえ、当該率を入力。規定のない場合は入力せず、③を算出し記載すること。</small>
---	---

算出率

③	直近の事業年度の損益計算書及び収支計算書等による法人の支出の額に占める管理費の率
---	--

算出率

※上記③の算出式

(財団法人又は社団法人)

算出率(%) = 管理費 / (総事業費 - 間接事業費) × 100

* 収支計算書から算出すること。

(学校法人又は準学校法人)

算出率(%) = [(人件費 - 教員人件費) + 管理経費] / 事業活動支出の部^{※1} 合計 × 100

(※1) 学校法人会計基準改正前の年度に当たっては、消費支出の部と読み替えること。

設定率	10.00%
算出額	0

※①～③の算出率のうち、最も低い率

※(人件費 + 事業費) × 設定率

必要経費内訳表

事業名 _____
 団体名 _____

(単位:円)

経費項目 小項目	金額	積算内訳										参考資料No.		
		摘要	人数等	単位	数量	単位	単価							
人件費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		賞金				X			X	@	円	=	0円	
		人件費付帯経費 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
		消費税相当額				X			X		10%	=	0円	
事業費														
諸謝金	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		委員会出席謝金等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
旅費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		委員会出席旅費等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
借損料	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		会場借料等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
消耗品費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		CD-ROM等 (物品名を記入) (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
会議費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		お茶代等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
通信運搬費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		開催通知等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
雑務費	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		印刷、広告等 派遣契約等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
保険料	0円	(例)				X			X	@	円	=	0円	
		傷害保険(講師) (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
一般管理費	0円	設定率												
再委託費	0円	再委託を行うもの				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
合計	0円													

(注1) 行が足りない場合は、適宜追加してもよい。(行の書式はそろえること)
 (注2) 単価の出せないものは、追加行に事項と金額を入力し、見積書等内訳を添付すること。
 (注3) A4紙に印刷し提出すること。(文字の判読が困難となる場合は複数ページに渡っても差し支えない)

(様式2-3)

令和〇年度	番号
-------	----

令和 年 月 日

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」事業計画書

文部科学省 〇〇〇局長 殿

所在地
法人名
(学校名)
代表者
職氏名

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
に関する事業計画書の提出について

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」について、事業計画書を提出します。

令和〇年度

番号

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」事業計画書

1 委託する事業内容

継続的な外国人留学生の状況調査等

2 事業名

3 代表機関

■代表機関(申請法人)等

法人名	
代表者名	
所在地	

■事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

4 事業の実施体制(イメージ)

5 構成機関・構成員等

(1) 構成機関(機関として本事業に参画する学校・企業・団体等)

	名称	役割等	内諾	都道府県名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

※内諾済の場合には、内諾欄に「○」を記入(以下同じ)

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

※行が足りない場合は適宜追加して記載すること(以下同じ)

(2) 構成員(委員)の氏名(上記(1)の機関から参画する者及び個人で本事業に参画する者等)

	名称	役割等	内諾	都道府県名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

(3) 事業を実施する上で設置する会議

※複数の会議を設置する場合には、欄を適宜追加して記載すること。

会議名①			
目的			
検討の 具体的内容			
委員数	人	開催頻度	

△△委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名	旅費
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

※会議開催に当たり旅費の支給対象となる者には、旅費欄に「○」を記入すること

会議名②			
目的			
検討の 具体的内容			
委員数	人	開催頻度	

××委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名	旅費
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

※会議開催に当たり旅費の支給対象となる者には、旅費欄に「○」を記入すること

6 事業の内容等

(1)事業の趣旨・目的等について

(750文字以内)

(2)実施する取組の具体的内容

▼それぞれの取組について、申請時に想定している具体的な取組内容について記載すること。例えば、どのような手法で、どのような内容の調査を実施し、どのような分析を行う予定なのか、それらの成果をどのように体制整備の各取組や分野横断連絡調整会議にフィードバックしていくかなど、取組内容を具体的に記載するよう心がけること。

(3)事業実施の年度計画

- ▼当該事業を行うにあたって、各年度に実施する取組の概要(年次計画)を具体的に記載すること。
- ▼具体的に実施する内容を示しつつ、流れがわかるように記載すること。

(4)事業実施に伴う成果物

▼どのような内容の成果物が生じるのかについて、事例を挙げながら、具体的かつ詳細に記載すること。なお、成果物をどのように活用していくのかという観点からも記載すること。

(5)事業終了後の成果の活用方法・手法の提言

▼事業の成果物をどこで、どのように活用することが見込まれるのか、またその実現可能性について、具体的に記載すること。

今年度の取組に関する年間スケジュール

	取組内容①	取組内容②	取組内容③	取組内容④	取組内容⑤
	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載	取組内容を記載
4月					
5月	<p>※今年度に取り組む内容について、取り組む内容ごとに、大まかな内容と実施時期を記載してください。</p> <p>(例) 取組内容:〇〇検討会議、〇〇実証講座、〇〇調査など それぞれ取り組む内容を簡単に該当する月に記載。</p> <p>※継続して取り組む内容については、矢印等を使って示していただいで構いません。</p> <p>※会議や調査、実証講座等、「ii)今年度の具体的活動」欄に記載した取組につき、おおよその実施時期等を記載してください。</p> <p>※1枚に収まらない場合は、次ページ以降に本表を複製して記載いただいで構いません。</p> <p>※本表の記載に当たっては、この説明用のテキストボックスを削除してかまいません。</p>				
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					

再委託について

(1)再委託

※本様式は、該当がある場合のみ作成すること。

事業名			
再委託先	企業名		
	住 所		
再委託の必要性			
再委託を行う業務内容			
所要額	円		
内 訳	経費額		経費積算
	人件費	円	
	諸謝金	円	
	旅費	円	
	借損料	円	
	消耗品費	円	
	会議費	円	
	通信運搬費	円	
	雑役務費	円	
	保険料	円	
	一般管理費	円	
	再委託費	円	
	合計	円	

(2) 履行体制に関する事項

※再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときに記載すること。

再々委託の相手方の住所及び氏名	
再々委託を行う業務の範囲	

所要経費一覧表

事業名 _____

団体名 _____

所要経費

(単位:円)

経費項目	予算額	備考
小項目		
人件費 (消費税相当額を含む)	0	
事業費	0	
諸謝金	0	
旅費	0	
借損料	0	
消耗品費 (図書購入費含む)	0	
会議費	0	
通信運搬費	0	
雑役務費 (印刷製本費等)	0	
保険料	0	
一般管理費 (人件費+事業費)×設定率	0	
再委託費	0	
合計	0	

※該当する場合のみ提出する。

一般管理費設定率の決定調書

事業名 _____

団体名 _____

設定率の比較

下記①～③の率から、最も低い率を当該事業における一般管理費の率とし、精算時においてもこの率を用いる。

①	10%(設定率の上限)
---	-------------

算出率 10.00%

②	法人が整備している受託規定に定められた率 <small>※規定がある場合は、別添のうえ、当該率を入力。規定のない場合は入力せず、③を算出し記載すること。</small>
---	---

算出率

③	直近の事業年度の損益計算書及び収支計算書等による法人の支出の額に占める管理費の率
---	--

算出率

※上記③の算出式

(財団法人又は社団法人)

算出率(%) = 管理費 / (総事業費 - 間接事業費) × 100

* 収支計算書から算出すること。

(学校法人又は準学校法人)

算出率(%) = [(人件費 - 教員人件費) + 管理経費] / 事業活動支出の部^{※1}合計 × 100

(※1) 学校法人会計基準改正前の年度に当たっては、消費支出の部と読み替えること。

設定率	10.00%
算出額	0

※①～③の算出率のうち、最も低い率

※(人件費 + 事業費) × 設定率

必要経費内訳表

事業名 _____
 団体名 _____

(単位:円)

経費項目 小項目	金額	積算内訳										参考資料No.		
		摘要	人数等	単位	数量	単位	単価							
人件費	0円	(例) 賃金				X			X	@	円	=	0円	
		人件費付帯経費 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
		消費税相当額				X			X		10%	=	0円	
事業費														
諸謝金	0円	(例) 委員会出席謝金等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
旅費	0円	(例) 委員会出席旅費等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
借損料	0円	(例) 会場借料等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
消耗品費	0円	(例) CD-ROM等 (物品名を記入) (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
会議費	0円	(例) お茶代等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
通信運搬費	0円	(例) 開催通知等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
雑務費	0円	(例) 印刷、広告等 派遣契約等 (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
保険料	0円	(例) 傷害保険(講師) (単位を記入)				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
一般管理費	0円	設定率												
再委託費	0円	再委託を行うもの				X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
						X			X	@	円	=	0円	
合計	0円													

(注1) 行が足りない場合は、適宜追加してもよい。(行の書式はそろえること)
 (注2) 単価の出せないものは、追加行に事項と金額を入力し、見積書等内訳を添付すること。
 (注3) A4紙に印刷し提出すること。(文字の判読が困難となる場合は複数ページに渡っても差し支えない)

(様式3-1)

令和〇年度	番号
-------	----

令和 年 月 日

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」実績報告書

文部科学省 ○〇〇局長 殿

所在地
法人名
代表者
職氏名

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
に関する実績報告書の提出について

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」について、実績報告書を提出します。

令和〇年度	番号
-------	----

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」実績報告書

1 委託事業の内容

コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備

2 事業名

--

3 代表機関

■代表機関(申請法人)等

法人名	
理事長名	
所在地	

■事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

4 構成機関・構成員等

(1) 教育機関

	名称	役割等	都道府県名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

※行が足りない場合は適宜追加して記載すること(以下同じ)

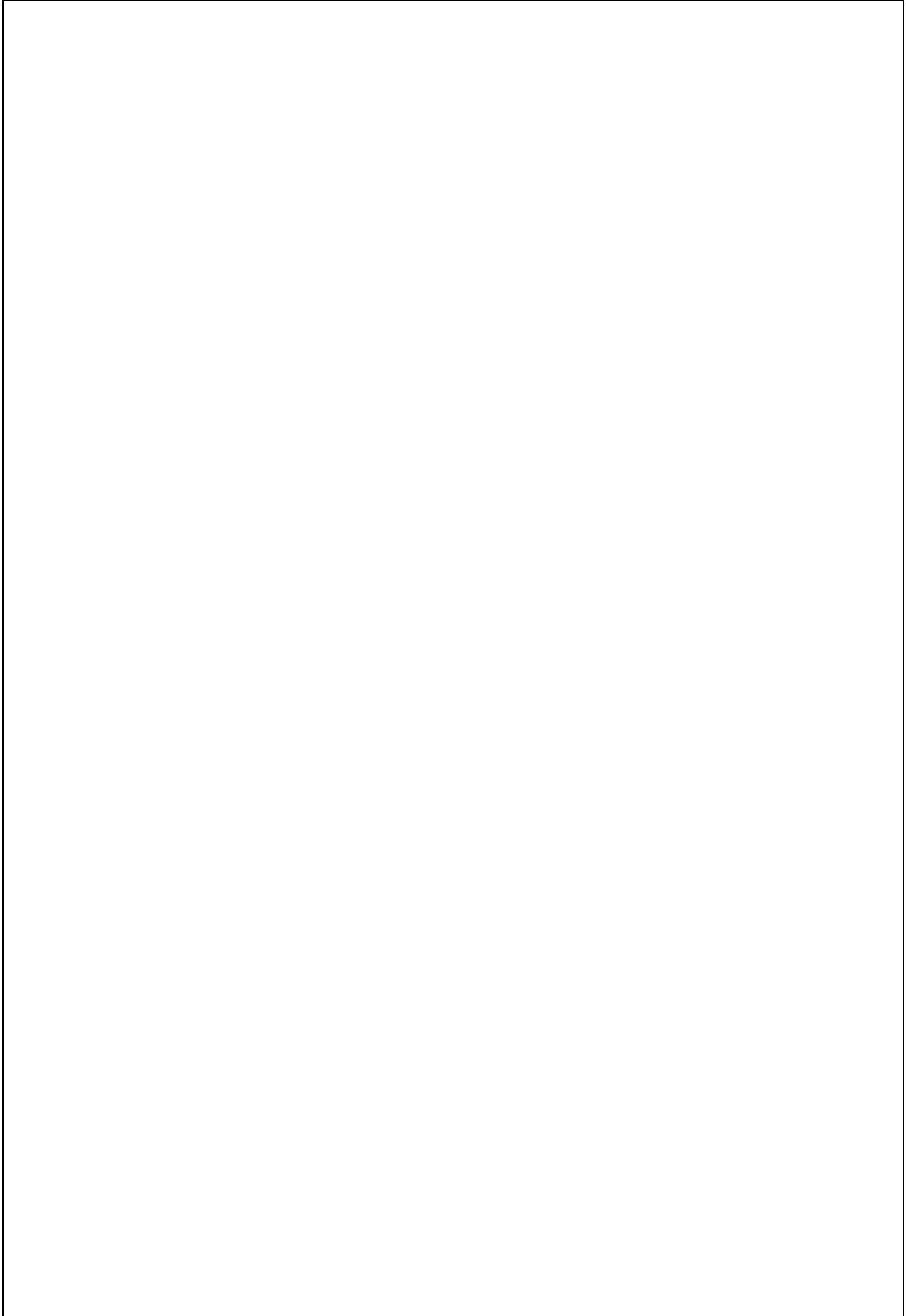
(2) 企業・団体

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1				
2				
3				
4				
5				

(3) 行政機関

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1				
2				
3				

(4)事業の実施体制



5 事業の内容等

(1) 事業の趣旨・目的について

(750文字以内)

(2) 当該地域において取組を進める意義

i) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット国(地域)

--	--	--

ii) 外国人留学生の受け入れ推進に向けたターゲット分野

--	--	--

▼当該地域での取組推進の必要性について記載すること。

また、その際、コロナ禍を踏まえた、当該地域における専修学校の外国人留学生の状況(在籍数やその傾向)など定量的なエビデンスなどを明確にすること。

▼さらに、地域の行政機関が策定する方針(※)や地域の成長産業との関連性などを踏まえて説明すること。

▼これまで同種の事業に取り組んできた団体は、これまでの取組から得られた成果や新たな課題を明確にし、成果を向上する又は新たな課題に対応する取組であることを説明すること。

(750文字以内)

(3)実施する取組の具体的内容

- ① ○○○○○ (←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator/成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

- ② ○○○○○** (←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator／成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

- ③ ○○○○○ (←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator／成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

- ④ ○○○○○ (←取組内容を記載。①入学前、②在学中〔教育指導〕、③在学中〔在籍管理、生活支援サポート〕、④就職支援等のいずれの取組なのかを明確にし、具体的な実施内容を記載すること。)

▼どのような課題にどのように対応し、何を(又はどのような状況になることを)目指すのかについて、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

▼留学生数の増加、留学生の就職率の向上や海外の教育機関等との提携協約の締結など定量的なKPI(Key Performance Indicator／成果指標又は重要業績指標)を定め、事業終了後の目指すべき指標を定めること。

※取組内容の例示

- ① 入学前(例:専門学校入学前の留学希望生に対し、webサイトの構築、SNSの活用、各国の言語によるオンラインオープンキャンパス等による情報発信。)
- ② 在学中(教育指導)(例:遠隔授業を駆使して、来日前の学習環境、ウィズコロナ、アフターコロナの日本における新しい日常についての学習支援。)
- ③ 在学中(在籍管理、生活支援サポート)(例:コロナ感染症流行下において、訪日に係る手続きの変化に対応するための支援を実施など留学生のサポート体制の整備。)
- ④ 就職支援等(例:就職先の新規開拓やマッチング体制の構築)

(750文字以内)

(4) 上記(3)の取組に付随して実施する取組(実態調査を含む。)

▼調査を実施する場合には、事業計画書別紙2にも詳細を記載してください。

(5)今年度に取組んだ具体的な内容について

▼上記(3)(4)に記載した取組に関して、今年度実施した具体的な内容を記載すること。
課題にどのように対応し、どのような成果をあげたのか、本事業における過年度の取組の成果や、取組によって明らかになった課題等を反映させつつ具体的に記載すること。

(6)事業実施に伴うアウトプット

▼どのような内容の成果物が生じるのかについて、事例を挙げながら、具体的かつ詳細に記載すること。

▼定量的な指標を用いて本取組を行ったことによる成果を記載すること。

(例:連携校における留学生数の増加、オンライン学習における学習定着度の向上、教職員への負担軽減への寄与、就職率の向上 等)

(7)事業実施によって達成する成果及び測定指標

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法) ※簡潔に記載すること。対象者及び人数、手法、実施時期等を記載すること(以下同じ)。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						

※「単位」欄には KPI として設定した指標に関する測定単位(「個」、「人」、「%」など)

※「達成度」欄については、当該年度の目標値に対する実績値の割合を算出して記載すること。

(8) 事業終了後に実施予定の取組及び成果の普及方策

- ▼事業の成果物をどこで、どのように活用することを検討しているのか、またその実現可能性について、具体的に記載すること。
- ▼他機関での活用などにより、事業期間終了後においても事業成果の活用・普及状況が検証可能となるよう、フォローアップ体制についても具体的に記載すること。

外国出張について

出張国	
目的	
日程	
人数	人
所属学校・役職名 及び氏名／役割	
出張先での 具体的取組内容	
所要額	円

事例調査について

事業名	
目的	
場所	
日程	
人数	人
所属学校・役職名 及び氏名／役割	
内容	予定している調査内容等を具体的に記載してください。
所要額(概算)	円

(※)国内・海外を問いません

再委託について

(1)再委託

※本様式は、該当がある場合のみ作成すること。

事業名			
再委託先	企業名		
	住所		
再委託の必要性			
再委託を行った業務内容			
所要額	円		
内 訳	経費額		摘要
	人件費	円	
	諸謝金	円	
	旅費	円	
	借損料	円	
	消耗品費	円	
	会議費	円	
	通信運搬費	円	
	雑役務費	円	
	保険料	円	
	一般管理費	円	
	再委託費	円	
	合計	円	

(2) 履行体制に関する事項

※再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われたときに記載すること。

再々委託の相手方の住所及び氏名	
再々委託を行った業務の範囲	

収支精算書

事業名 _____

団体名 _____

収支

1. 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	摘要
委託費の額	0	0	
自己調達額			
その他の額			
合計	0	0	

2. 支出の部

(単位:円)

経費項目	予算額 (事業計画額)	決算額	差額
人件費 (消費税相当額を含む)		0	0
事業費	0	0	0
諸謝金		0	0
旅費		0	0
借損料		0	0
消耗品費 (図書購入費等)		0	0
会議費		0	0
通信運搬費		0	0
雑役務費 (印刷製本費等)		0	0
保険料		0	0
一般管理費 (設定率を入力↓)	0	0	0
	10.0%		
再委託費		0	0
合計	0	0	0

一般管理費設定率の決定調書

事業名 _____
法人名 _____

設定率の比較

下記①～③の率から、最も低い率を当該事業における一般管理費の率とし、精算時においてもこの率を用いる。

①	10%(設定率の上限)
---	-------------

算出率 10.00%

②	法人が整備している受託規定に定められた率 <small>※規定がある場合は、別添のうえ、当該率を入力。規定のない場合は入力せず、③を算出し記載すること。</small>
---	---

算出率

③	直近の事業年度の損益計算書及び収支計算書等による法人の支出の額に占める管理費の率
---	--

算出率

※上記③の算出式

(財団法人又は社団法人)

算出率(%) = 管理費 / (総事業費 - 間接事業費) × 100

* 収支計算書から算出すること。

(学校法人又は準学校法人)

算出率(%) = {(人件費 - 教員人件費) + 管理経費} / 消費支出の部合計 × 100

* 消費収支計算書から算出すること。

設定率	10.00%
算出額	0

※①～③の算出率のうち、最も低い率

※(人件費 + 事業費) × 設定率

必要経費内訳表

事業名 _____
 団体名 _____

(単位:円)

経費項目	金額	積算内訳							円	=	円
		小項目	摘要	人数等	単位	数量	単位	単価			
人件費	0円	(例)賃金				X		X @			0円
		人件費付帯経費 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
		消費税相当額				X		X	10%		
事業費											
諸謝金	0円	(例)委員会出席謝金等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
旅費	0円	(例)委員会出席旅費等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
借損料	0円	(例)会場借料等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
消耗品費	0円	(例)CD-ROM等 (物品名を記入) (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
会議費	0円	(例)お茶代等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
通信運搬費	0円	(例)開催通知等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
雑役務費	0円	(例)印刷、広告等 派遣契約等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
保険料	0円	(例)傷害保険(講師) (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
一般管理費	0円	設定率							10.00%		
再委託費	0円	再委託を行うもの				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
合計	0円										

(注1) 行が足りない場合は、適宜追加してもよい。(行の書式はそろえるとともに、合計額の計算式の範囲に留意すること)
 (注2) 単価の出せないものは、追加行に事項と金額を入力し、見積書等内訳を添付すること。
 (注3) A4紙に印刷し提出すること。

(様式3-2)

令和〇年度	番号
-------	----

年 月 日

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」実績報告書

文部科学省 ○○○○局長 殿

所在地
法人名
(学校名)
代表者
職氏名

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」に関する実績報告書の提出について

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」について、実績報告書を提出します。

令和〇年度

番号

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」実績報告書

1 委託事業の内容

分野横断連絡調整会議

2 事業名

3 代表機関

■代表機関(受託法人)等

法人名	
代表者名	
学校名	
所在地	

■事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

4 構成機関・構成員等 ※個人の場合は名称欄に氏名を記載すること

(1) 教育機関

	名称	役割等	都道府県名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

※行が足りない場合は適宜追加して記載すること(以下同じ)

(2) 企業・団体

	名称	役割等	都道府県名
1			
2			
3			
4			
5			

(3) 行政機関

	名称	役割等	都道府県名
1			
2			
3			

(4)事業の実施体制

(5)各機関の役割・実際に得られた協力事項について

○教育機関

○企業・団体

○行政機関

5 事業の内容等

(1) コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備の各取組の進捗管理に係る方策、工夫

▼各取組の進捗を確認し、取組ごとの質の均衡を図るために行った方策や工夫などについて記載すること。

ex) 記載事項例

各取組への助言が可能な有識者の活用、各取組同士の横のつながりを持たせるための情報共有ツールの導入 等

▼各取組についての課題を把握し集約し、解決策を提示するために行った工夫について記載すること。

(540文字以内)

(2) 各取組における成果の体系化、普及・定着方策の立案・実践

▼各取組によってまとめられる成果を、他の専修学校が活用しやすいよう、分野毎の類型や指導方法毎の類型に分類し、体系的に整理するために行った方策を記載する。

▼各取組から得られる様々なデータを分析し、成果として対外的にわかりやすく発信するために行った内容を記載すること。

▼立案した同方策のうち、その一部を実施する。

ex) 記載事項例

普及ガイドラインの作成、セミナー等広報活動の実施 等

(3) 具体的な取組

i) 計画の全体像

▼1年目は普及定着方策の検討・実施、各取組間の連絡調整、2年目は各取組間の連絡調整・助言、諸外国等の動向調査、3年目は各取組における成果のとりまとめなど、具体的に実施する内容を示しつつ、流れがわかるように記載すること。

ii)今年度の具体的活動

▼今年度に取り組んだ内容について、具体的に記載すること。その際、取組を通して得られた成果や、明らかとなった課題等について記載すること。

▼会議や調査、実証講座を実施した場合には次ページ以降の記載例を参考にすること。

○事業を推進する上で設置した会議 ※複数の会議を設置した場合には、欄を適宜追加して記載すること。

会議名 ①			
目的・ 役割			
検討の 具体的 内容			
委員数	人	開催頻度	回

△△委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名	旅費
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※会議開催に当たり旅費の支給対象となる者には、旅費欄に「○」を記入すること

○事業を推進する上で実施した調査 ※複数の調査を設置する場合には、適宜追加して記載すること。

調 査 名	
調 査 目 的	
調 査 対 象	
調 査 手 法	
調 査 項 目	
分 析 内 容 (集計項目)	
調 査 結 果	

※上記は最小限の項目例であり、必要に応じて追加することは差し支えない。

※上記の項目が含まれていれば、上記表形式以外の記載とすることは差し支えない。

(5) 事業実施に伴うアウトプット(成果物)

▼アウトプットの概要を具体的かつ明確に記載すること。

▼複数年度で取り組む場合は、最終的なアウトプットと各年度のアウトプットの双方がわかるように記載すること。

▼コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備における成果の体系化、普及・広報・定着方策の検討における記載も踏まえた記載とすること。

▼複数年度で取り組む場合は、最終的なアウトプットと各年度のアウトプットの双方がわかるように記載してください。

(6)事業実施によって達成する成果及び測定指標

KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法) ※簡潔に記載すること。対象者及び人数、手法、実施時期等を記載すること(以下同じ)。						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						
KPI(成果測定指標)		単位	事業開始前	令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度
	目標値					
	実績値					
	達成度	%				
(上記 KPI の測定手法)						

※「単位」欄には KPI として設定した指標に関する測定単位(「個」、「人」、「%」など)

※「達成度」欄については、当該年度の目標値に対する実績値の割合を算出して記載すること。

再委託について

(1)再委託

※本様式は、該当がある場合のみ作成すること。

事業名			
再委託先	企業名		
	住 所		
再委託の必要性			
再委託を行う業務内容			
所要額	円		
内 訳	経費額		経費積算
	人件費	円	
	諸謝金	円	
	旅費	円	
	借損料	円	
	消耗品費	円	
	会議費	円	
	通信運搬費	円	
	雑役務費	円	
	保険料	円	
	一般管理費	円	
	再委託費	円	
	合計	円	

(2) 履行体制に関する事項

※再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときに記載すること。

再々委託の相手方の住所及び 氏名	
再々委託を行う業務の範囲	

収支精算書

事業名 _____

団体名 _____

収支

1. 収入の部 (単位:円)

費目	予算額	決算額	摘要
委託費の額	0	0	
自己調達額			
その他の額			
合計	0	0	

2. 支出の部 (単位:円)

経費項目	予算額 (事業計画額)	決算額	差額
小項目			
人件費 (消費税相当額を含む)		0	0
事業費	0	0	0
諸謝金		0	0
旅費		0	0
借損料		0	0
消耗品費 (図書購入費等)		0	0
会議費		0	0
通信運搬費		0	0
雑役務費 (印刷製本費等)		0	0
保険料		0	0
一般管理費 (設定率を入力↓)	0	0	0
	10.0%		
再委託費		0	0
合計	0	0	0

一般管理費設定率の決定調書

事業名 _____
法人名 _____

設定率の比較

下記①～③の率から、最も低い率を当該事業における一般管理費の率とし、精算時においてもこの率を用いる。

①	10%(設定率の上限)
---	-------------

算出率 10.00%

②	法人が整備している受託規定に定められた率 <small>※規定がある場合は、別添のうえ、当該率を入力。規定のない場合は入力せず、③を算出し記載すること。</small>
---	---

算出率

③	直近の事業年度の損益計算書及び収支計算書等による法人の支出の額に占める管理費の率
---	--

算出率

※上記③の算出式

(財団法人又は社団法人)

算出率(%) = 管理費 / (総事業費 - 間接事業費) × 100

* 収支計算書から算出すること。

(学校法人又は準学校法人)

算出率(%) = {(人件費 - 教員人件費) + 管理経費} / 消費支出の部合計 × 100

* 消費収支計算書から算出すること。

設定率	10.00%
算出額	0

※①～③の算出率のうち、最も低い率

※(人件費 + 事業費) × 設定率

必要経費内訳表

事業名 _____
 団体名 _____

(単位:円)

経費項目	金額	積算内訳							円	=	円
		小項目	摘要	人数等	単位	数量	単位	単価			
人件費	0円	(例)賃金				X		X @			0円
		人件費付帯経費 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
		消費税相当額				X		X	10%		
事業費											
諸謝金	0円	(例)委員会出席謝金等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
旅費	0円	(例)委員会出席旅費等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
借損料	0円	(例)会場借料等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
消耗品費	0円	(例)CD-ROM等 (物品名を記入) (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
会議費	0円	(例)お茶代等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
通信運搬費	0円	(例)開催通知等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
雑役務費	0円	(例)印刷、広告等 派遣契約等 (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
保険料	0円	(例)傷害保険(講師) (単位を記入)				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
一般管理費	0円	設定率					10.00%				
再委託費	0円	再委託を行うもの				X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
						X		X @			0円
合計	0円										

(注1) 行が足りない場合は、適宜追加してもよい。(行の書式はそろえるとともに、合計額の計算式の範囲に留意すること)
 (注2) 単価の出せないものは、追加行に事項と金額を入力し、見積書等内訳を添付すること。
 (注3) A4紙に印刷し提出すること。

(様式3-3)

令和〇年度	番号
-------	----

令和 年 月 日

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」実績報告書

文部科学省 ○〇〇局長 殿

所在地
法人名
(学校名)
代表者
職氏名

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」
に関する実績報告書の提出について

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」について、実績報告書を提出します。

令和〇年度

番号

令和〇年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」実績報告書

1 委託事業の内容

継続的な外国人留学生の状況調査等

2 事業名

3 代表機関

■代表機関(申請法人)等

法人名	
代表者名	
所在地	

■事業責任者(事業全体の統括責任者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

■事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職名	
氏名	
電話番号	
E-mail	

4 事業の実施体制

5 構成機関・構成員等

(1) 構成機関(機関として本事業に参画した学校・企業・団体等)

	名称	役割等	都道府県名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

※「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

※行が足りない場合は適宜追加して記載すること(以下同じ)

(2) 構成員(委員)の氏名(上記(1)の機関から参画した者及び個人で本事業に参画した者等)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

(3) 事業を実施する上で設置した会議

※複数の会議を設置する場合には、欄を適宜追加して記載すること。

会議名①			
目的			
検討の 具体的内容	※議事録ではなく、検討事項とその結論を具体的に記載すること。		
委員数	人	開催頻度	

△△委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名	旅費
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※会議開催に当たり旅費の支給対象となる者には、旅費欄に「○」を記入すること(以下同じ)

会議名②			
目的			
検討の 具体的内容			
委員数	人	開催頻度	

× × 委員会の構成員(委員)

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名	旅費
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

6 事業の内容等

(1)事業の趣旨・目的等について

(750文字以内)

(2) 実施した取組の具体的な内容

▼それぞれの取組について、実施した具体的な取組内容について記載すること。例えば、どのような手法で、どのような内容の調査を実施し、どのような分析を行ったのか、それらの成果をどのように体制整備の各取組や分野横断連絡調整会議にフィードバックしたのかなど、取組内容を具体的に記載するよう心がけること。

(3) 実施した取組の具体的な内容

▼それぞれの取組について、実施した具体的な取組内容について記載すること。例えば、どのような手法で、どのような内容の調査を実施し、どのような分析を行ったのか、それらの成果をどのように体制整備の各取組や分野横断連絡調整会議にフィードバックしたのかなど、取組内容を具体的に記載するよう心がけること。

(4)事業実施の年度計画

- ▼当該事業を行うにあたって、各年度に実施する取組の概要(年次計画)を具体的に記載すること。
- ▼具体的に実施した内容を示しつつ、流れがわかるように記載すること。

(4) 事業実施に伴う成果物

▼どのような内容の成果物が生じたのかについて、具体的かつ詳細に記載すること。
今後どのような成果につながるのかについても記載すること。

(5)事業終了後の成果の活用方法・手法の提言

▼事業の成果物をどこで、どのように活用したのかについて、具体的に記載すること。

再委託について

(1)再委託

※本様式は、該当がある場合のみ作成すること。

事業名			
再委託先	企業名		
	住所		
再委託の必要性			
再委託を行った業務内容			
所要額	円		
内 訳	経費額		摘要
	人件費	円	
	諸謝金	円	
	旅費	円	
	借損料	円	
	消耗品費	円	
	会議費	円	
	通信運搬費	円	
	雑役務費	円	
	保険料	円	
	一般管理費	円	
	再委託費	円	
	合計	円	

(2) 履行体制に関する事項

※再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われたときに記載すること。

再々委託の相手方の住所及び 氏名	
再々委託を行った業務の範囲	

収支精算書

事業名 _____

団体名 _____

収支

1. 収入の部 (単位:円)

費目	予算額	決算額	摘要
委託費の額	0	0	
自己調達額			
その他の額			
合計	0	0	

2. 支出の部 (単位:円)

経費項目	予算額 (事業計画額)	決算額	差額
小項目			
人件費 (消費税相当額を含む)		0	0
事業費	0	0	0
諸謝金		0	0
旅費		0	0
借損料		0	0
消耗品費 (図書購入費等)		0	0
会議費		0	0
通信運搬費		0	0
雑役務費 (印刷製本費等)		0	0
保険料		0	0
一般管理費 (設定率を入力↓)	0	0	0
	10.0%		
再委託費		0	0
合計	0	0	0

一般管理費設定率の決定調書

事業名 _____
法人名 _____

設定率の比較

下記①～③の率から、最も低い率を当該事業における一般管理費の率とし、精算時においてもこの率を用いる。

①	10%(設定率の上限)
---	-------------

算出率 10.00%

②	法人が整備している受託規定に定められた率 <small>※規定がある場合は、別添のうえ、当該率を入力。規定のない場合は入力せず、③を算出し記載すること。</small>
---	---

算出率

③	直近の事業年度の損益計算書及び収支計算書等による法人の支出の額に占める管理費の率
---	--

算出率

※上記③の算出式

(財団法人又は社団法人)

算出率(%) = 管理費 / (総事業費 - 間接事業費) × 100

* 収支計算書から算出すること。

(学校法人又は準学校法人)

算出率(%) = {(人件費 - 教員人件費) + 管理経費} / 消費支出の部合計 × 100

* 消費収支計算書から算出すること。

設定率	10.00%
算出額	0

※①～③の算出率のうち、最も低い率

※(人件費 + 事業費) × 設定率

必要経費内訳表

事業名 _____
 団体名 _____

(単位:円)

経費項目	金額	積算内訳							番号	
		小項目	摘要	人数等	単位	数量	単位	単価		
人件費	0円	(例)賃金				X	@	円	=	0円
		人件費付帯経費 (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
		消費税相当額				X		10%	=	0円
事業費										
諸謝金	0円	(例)委員会出席謝金等 (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
旅費	0円	(例)委員会出席旅費等 (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
借損料	0円	(例)会場借料等 (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
消耗品費	0円	(例)CD-ROM等 (物品名を記入) (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
会議費	0円	(例)お茶代等 (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
通信運搬費	0円	(例)開催通知等 (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
雑役務費	0円	(例)印刷、広告等 派遣契約等 (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
保険料	0円	(例)傷害保険(講師) (単位を記入)				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
一般管理費	0円	設定率								10.00%
再委託費	0円	再委託を行うもの				X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
						X	@	円	=	0円
合計	0円									

(注1) 行が足りない場合は、適宜追加してもよい。(行の書式はそろえるとともに、合計額の計算式の範囲に留意すること)
 (注2) 単価の出せないものは、追加行に事項と金額を入力し、見積書等内訳を添付すること。
 (注3) A4紙に印刷し提出すること。

(様式4)

〇〇文科〇第〇〇〇号
令和〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇法人
〇〇〇 〇 〇 〇 〇 殿

支出負担行為担当官
文部科学省〇〇〇〇局長
〇 〇 〇 〇

委託費の額の確定について（通知）

令和〇年〇月〇〇日付けで契約を締結した下記の委託事業については、令和〇年〇月〇〇日付けにて提出された実績報告書に基づき審査した結果、下記のとおり確定したので通知します。

記

1. 委託契約件名 令和〇年度「**専修学校留学生の学びの支援推進事業**」
2. 委託費確定額 金 〇〇〇〇円（消費税を含む。）